



医師として、周囲の人のために

県立広島病院 脳神経内科 飯石 隼也

脳神経内科専攻医1年目の飯石隼也と申します。両親は島根県出身で、私自身も生まれは島根県ですが、幼少期から広島市で過ごしました。広島学院中学校・高等学校で漠然と過ごす中で、周囲の人のために働きたいという思いだけは常に持っており、それを最も形にしやすい想像しやすい職業と考えて医師の道を志しました。広島大学医学部に入学し、実家の近くの県立広島病院で初期研修を行い現在も引き続き勤務しています。

神経という目に見えないものを相手にする難解さ、神経の仕組みにより症状を説明できた時の感動から脳神経分野に興味を持つようになりました。初期研修でも魅力的な症例に出会うことができたほか、優しく指導的な先生方に惹かれて脳神経内科を選びました。

県内でも有数の病床数を持つ当院では幅広い疾患を経験することができ、勉強することが増え続ける毎日です。脳血管内治療にも携わらせていただいております。カテーテル治療のハンズオンや、脳神経内科による脳血管内治療の研究会に参加して刺激を受けています。将来血栓回収療法の適応症例を対応した際に自分で治療を行うことができなければ確実に後悔すると思い、脳血管内治療専門医の取得を目標としています。最近初めての術者症例を経験させていただき、一層気合が入っているところです。

充実した毎日を送ることができている私ですが、最も大切にしているのは周囲の人との関わりです。脳神経内科医として重要なのは患者との対話であり、長期間にわたって患者と関係を築いていくことだと思います。完治させることが難しく生涯付き合っていく必要がある疾患が数多くある脳神経内科分野において、患者との信頼関係は欠かせません。また専攻医になって以降、医師の仕事は周囲の人の支えで成り立っており、最前線で戦っている他職種の方々がいないならば医療は実現できないと強く感じるようになりました。少しでも周りの助けになれるよう、できるだけ現場に足を運んでコミュニケーションを取ることを心がけているつもりです。

疾患だけでなく、患者本人や家族と時間をかけて関わっていくことができる脳神経内科は自分に合っているように思います。血栓回収療法のように劇的に症状が改善することもある一方で、治療が効果を持たず無力さを感じることも多いですが、その中でも最善を尽くすことが医師として果たすべき役割だと考えます。患者や周囲の人に信頼され、この人に診てもらいたい、一緒に働きたいと思われるような医師になることが目標です。未熟で至らない点ばかりですが、日々少しでも成長できるよう精進してまいります。



スマホでサクッと♪

書かない



確定申告

国税庁

検索



税務署

マイナンバーカードでe-Tax

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」なら金額等を入力するだけで**自動計算**で申告書が完成！

納付はキャッシュレス納付が便利です！

自宅やオフィスから納付可能！
PCやスマホで簡単手続き！現金管理の効率化！

申告書の作成はこちらから



作成できる申告書等

- ・所得税の申告書
- ・青色申告決算書
- ・収支内訳書
- ・消費税の申告書
- ・贈与税の申告書

詳細はこちらから



振替納税

ダイレクト納付

インターネットバンキング等

クレジットカード納付

スマホアプリ納付

マイナポータル連携でさらに便利！

控除証明書等のデータが自動入力できる♪

確定申告書の作成時間が短縮！

医療費やふるさと納税のデータが自動で連携されて楽！

申告と納税の期限

申告納税	所得税および復興特別所得税・贈与税	令和7年3月17日 月 まで
	消費税および地方消費税（個人事業者）	令和7年3月31日 月 まで
事業税・住民税の申告期限：令和7年3月17日（月）		